資料１

第１回気仙沼市震災復興市民委員会　意見要旨

開催日　平成 23 年 6 月 21 日(火)　16：00 ～ 19：15
場　所　気仙沼市役所本庁舎 3 階会議室

１　計画策定体制，スケジュールについて

・市民委員会としての「提言」をとりまとめ，復興会議へ反映させていく。
・計画策定後の９月以降も広い意味で「提言」をいただく。
・市民委員会と復興会議の位置付けは，計画策定に関し，互いに補完しあう関係である。

２　委員会の体制について

・市民ニーズの集約には市民支援団体や社会福祉協議会と手を組み，一緒に取り組む必要があるのではないかとの意見
・意見集約のための「専用窓口」を作ることが必要

３　委員会の進め方について

・議論の進め方は，総論と各論に分けて議論してはどうかとの意見
・各委員の考える「復興ビジョン」を次回の会議で語っていただく（5 分～10 分)。
・議論のテーマを絞り，今後，論点毎に会議の中で２項目ほど議論していく形をとる。次回の会議では論点１と論点２について，内容のレクチャーを事務局よりいただく。
・復興会議の議論上にあげていくため，本会では７月中に論点１から８まで話し合い，とりまとめられるスパンで会議は開催していく。また，８月以降はさらに必要な内容を話し合う。
・次回以降，会議の終了時刻を明確にして議論を進める。
・復興に対する「課題」がみえていないので，何が重要かという点と各柱の関係性も含め議論する。
・地盤沈下地域における土地の国の買取りによる公有地化に関しては，公有地化がないものとして，土地のかさ上げを前提として考えていく。
・８項目の柱を中心に，この柱に肉付けをしていくのが本委員会の役割である。

４　市民意見の把握について

・「ＩＴ」による意見把握は高齢化率が高い本市には主とするべきではない。
・固定電話・インターネットの復旧率も依然低い状況では意見は集めにくい。自治会等を活用した方が良い。
・市民が常に不安に思っていることは情報がないことである。本会の情報も広く公開すべき。
・アンケート調査は一度にまとめて行うのが効率的であるがどのように行うかが重要である。
・アンケートの実施に関しては，プロの手法を取り入れられれば良い。その調査と準備を事務局にお願いする。